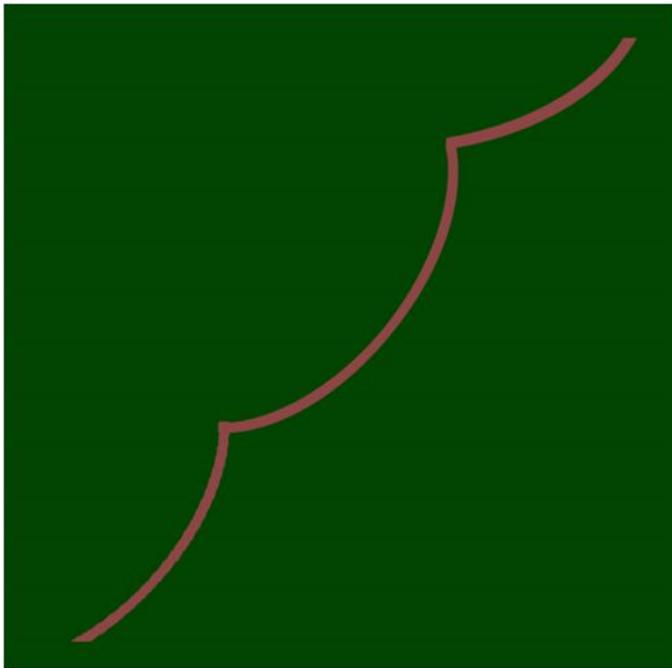


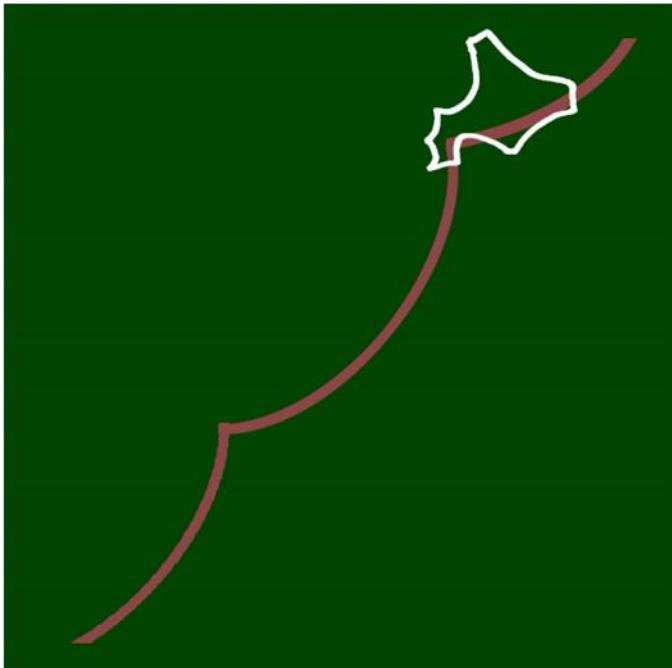
「黒板に日本列島略図を描くコツ (2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

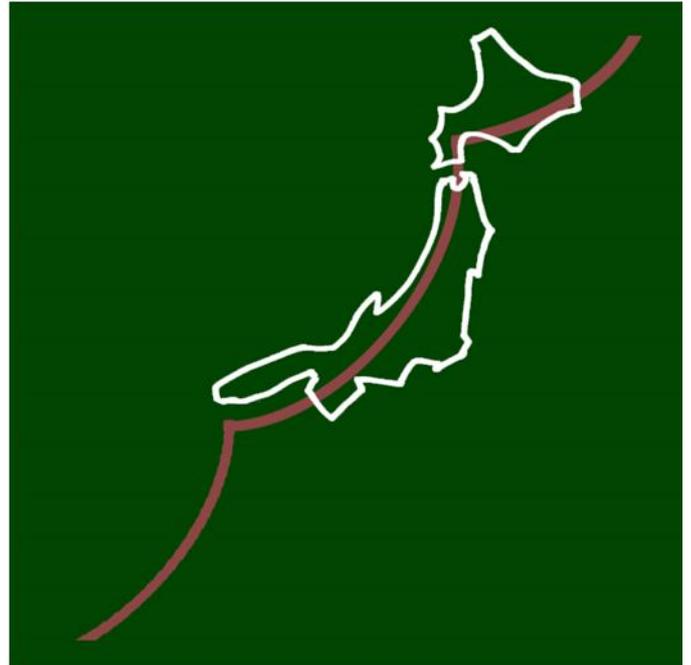
地理の授業で、両手にチョークを持ち、左手で世界地図を描きながら、同時に右手で地名を書き込む先生がいた。私にはあんな離れ業はできない。しかし、理科の授業で、黒板にきれいな日本列島の略図を描けると、それだけで授業は非常に活性化する。水彩画の技法書のように、その「手順」を紹介してみよう。



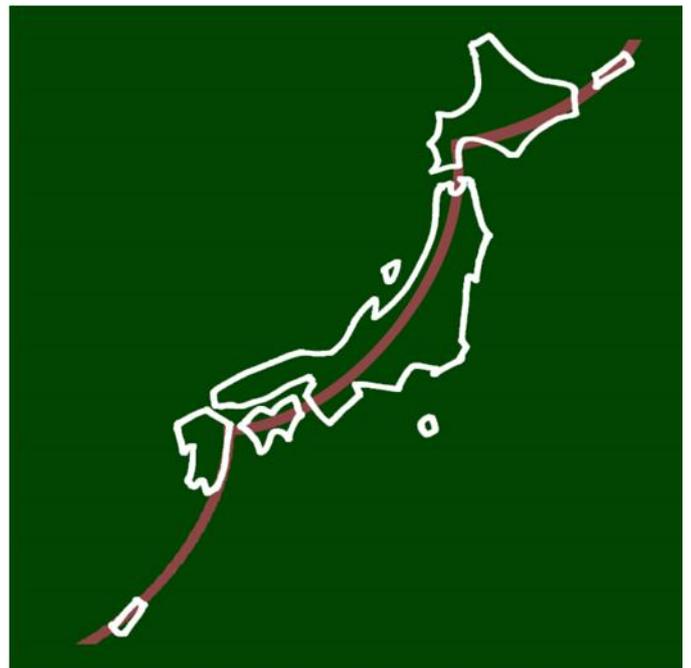
①列島の骨格である「3つの弧」を薄く描く。



②北海道から描きはじめる。北海道は、本州から見ると、右(東)にずれていることを意識する。



③本州を描く。細かい海岸線は省略。しかし、各地方の大きさの関係は、ある程度正確に。



④四国、九州を描き、最後に代表的な島嶼を入れて完成。千島列島、沖縄、日本海の島(佐渡)、太平洋の島は、代表で1つずつで良い。しかし、これを入れるのと入れないのでは、地図の意味が大きく異なる。

慣れると、下絵の「3つの弧」は必要なくなる。しかし、美しくスラスラ描くには、練習が欠かせない。私は50回ぐらい練習した・・・かな?